

宿泊研修向け「環境教育プログラム」体験導入のご提案

背景

地球温暖化に加え、東日本大震災・原発事故・TPP参加などにより、地球環境やエネルギー事情、農業に関する**環境教育の必要性**は高まり、学校教育でも積極的に取り入れられているが、授業とは違った視点による体験的活動も重要になってきている。

200名程度・6クラス
まで受け入れ可能

富良野自然塾 環境教育プログラム

体験時間
70分～3時間

ポイント①

高い教育効果

作家・倉本聰によって監修されたプログラムは、演劇で培った手法を用いてインストラクターがドラマチックに表現し、参加者の想像力をかきたて、体験を伴いながら地球環境問題を学ぶことができる場所として、全国から多くの方々が参加されています。

現在では、海外からも視察・導入のお話をいただくなど、高い評価を得ています。



※プログラム内容に関しては、別紙「環境教育プログラム紹介」をご覧ください。

ポイント②

柔軟な対応

プログラム体験時間は、3時間（9時～12時・13時～16時）を基本としています。到着時間や出発時間、参加人数などにより、柔軟に対応できるよう努めています。お気軽にご相談ください。

大規模校も大丈夫

●4クラス以上の大人数の場合、2班に分けての体験も多くの実績があります。

ポイント③

確かな実績

道内外より40校以上の小中学校を受け入れました。北海道における、楽しく学べる体験学習の1つとして、定着しています。

雨の日も大丈夫

●富良野市内の屋内施設にて、自然や地球環境や循環自然のお話を、楽しく学ぶことができる講話を実施します。

ポイント④

豊富な行程バリエーション

近隣施設との組み合わせで、様々な行程計画が可能です。()内は富良野自然塾からのバス所要時間

●体験施設

上富良野トリックアート美術館（30分）
後藤純男美術館（20分）
富良野チーズ工房（5分）
空知川ラフティング（60分）

●宿泊施設

国立大雪青少年交流の家（60分）
国立日高青少年自然の家（60分）
富良野 北の峰エリアのホテル（5分）

※別紙「旭川発 行程事例」もご覧ください。

富良野GROUP連携

●ワークショップ

「表現コミュニケーション^ワークショップ」

学び多き研修旅行を実現

旭川発 行程事例(1泊2日)

【宿泊研修】 宿泊:大雪青少年交流の家

1日目	
8:30	学校出発
10:00	コミュニケーションワークショップ(90分)
12:00	富良野自然塾到着 (昼食)
13:00	環境教育プログラム体験(3時間)
16:00	富良野自然塾 出発
17:00	交流の家 到着 キャンプファイヤーなど

2日目	
8:30	交流の家 出発
9:30	後藤純男美術館見学(60分)
11:00	チーズ・アイス作り体験(60分) (昼食)
13:30	富良野 出発
15:30	学校 到着

富良野GROUP連携

●ワークショップ
富良野GROUP所属の現役の役者(富良野塾OB)による、演劇的手法を用いた「表現コミュニケーションワークショップ」との組み合わせも好評いただいています。

【宿泊研修】 宿泊:日高青少年自然の家

1日目	
8:30	学校出発
10:00	コミュニケーションワークショップ(90分)
12:00	富良野自然塾到着 (昼食)
13:00	環境教育プログラム体験(3時間)
16:00	富良野自然塾 出発
17:00	自然の家 到着 キャンプファイヤーなど

2日目	
8:00	自然の家 出発
9:00	二風谷アイヌ文化博物館(60分)
12:00	(昼食)
13:00	チーズ・アイス作り体験(60分)
14:00	富良野 出発
16:00	学校 到着

環境教育プログラム内容紹介

富良野自然塾の「環境教育プログラム」は、「緑の教室」「裸足の道」「石の地球」「46億年・地球の道」「植樹」の5つで構成されています。

プログラムの進行・案内はインストラクターによって行われ、「分かりやすく、心に届く表現」を大切に、楽しみながら体験できる内容となっています。

本資料は、標準的なプログラム(所要時間：3時間)の流れを紹介します。ただし、参加人数やフィールドの状況により、プログラムの順番などを変えさせていただく場合があります。

【プログラム時間配分】

1 緑の教室	15~20分
2 裸足の道 *	20~30分
3 石の地球	20分
4 地球の道	50分
5 植樹	45分
	約3時間

* 多人数の場合は2班に分け、片方の班は「2 裸足の道」を最後に回して時間をずらすことにより2つの班が同内容を体験できます。

「緑の教室」



古来、人類は木材資源のために森を育てて来ました。

“幹を見て葉を見ず”でした。しかし、人類を含む動物は“酸素と水”なしでは生きられません。その二つを我々に提供してくれるのはいずれも木の葉っぱです。

プログラムの冒頭で、その“葉っぱ”をつくるために“森”をつくっていることや“森”と私たちの関係をお話します。

「裸足の道」



私たちは現代の便利な生活の中で、ほとんどの情報を“視覚”から得て生きています。ここでは、目隠しをして裸足になり、芝生、砂利、落ち葉、丸太など様々な工夫された地面を歩き、視覚以外の感覚で感じることを再認識します。自然や環境は自分の五感で感じる事が大切なのです。

「石の地球」



環境問題は地球環境の問題です。ここでは、地球を“空間的”に見ていくことで学びます。直径1mの石の地球や地球の表面積を表した石板を使い、地球の構造、海や陸地のこと、水資源や森林破壊などの環境問題の現状を分かりやすく見ていきます。

さらに、地球が“素晴らしい偶然”でできた“奇跡の惑星”であることを学びます。

「46億年・地球の道」



ここでは、さらに地球を理解するために“時間的”に見ていくことで学びます。

地球の誕生から現代までの壮大なる歴史 46 億年を、460mの距離に置き換えて表現した道歩くことで体感します。過去に起こった地球高温化、全球凍結、生物の誕生と進化、石炭石油の蓄積など、インストラクターが表現力豊かに解説します。道の終点では、長い歴史によって築かれた地球の環境が人類の登場によって大きく変わり、それがほんのわずかな時間であることを実感します。



<24~22 億年前>
地球全体が氷に覆われた
全球凍結の時代



<6 億年前~現代>
生物たちの華やかな時代
道の両側に様々な木「ジェ」を設置



<未来>
アメリカ先住民に伝わる
メッセージを紹介

— 休憩 —

「植樹」

富良野自然塾では、自分たちで周辺の森から木の種を集めて育苗地にまき、苗木を育てています。植樹では、その苗木を植えて森に還す活動を体験してもらいます。

植樹は、元ゴルフ場の固い地面にスコップで穴を掘り、一つの穴にカミネッコンに入った苗木を3本寄せ植えます。

※1つの穴を複数人で掘って植樹します。



カミネッコンに移植された苗



育苗地の説明



植樹の様子